

島根労働局発表  
令和7年6月25日（水）島根労働局職業安定部職業対策課  
担当 職業対策課長 内藤 義博  
障害者雇用担当官 大石 隆二  
TEL 0852-20-7021

## ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数が過去最高を更新 —令和6年度障害者の職業紹介状況等—

島根労働局（局長 いわみ ひろふみ 岩見 浩史）は、令和6年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

### ポイント

- 新規求職申込件数は1,996件（前年度1,940件）で、対前年度比2.9%（56件）の増となり、また、就職件数は1,103件（前年度1,090件）で、対前年度比1.2%（13件）の増となった。
- 就職率（新規求職申込件数に対する就職件数の割合）は55.3%（同0.9ポイント減）となった。

	新規求職申込件数				就職件数			
	5年度	6年度	対前年度	前年度比	5年度	6年度	対前年度	前年度比
身体障害者	350件	356件	6件増	1.7%増	146件	147件	1件増	0.7%増
知的障害者	327件	329件	2件増	0.6%増	199件	200件	1件増	0.5%増
精神障害者	1,102件	1,153件	51件増	4.6%増	660件	688件	28件増	4.2%増
その他の障害者※	161件	158件	3件減	1.9%減	85件	68件	17件減	20.0%減
合計	1,940件	1,996件	56件増	2.9%増	1,090件	1,103件	13件増	1.2%増

- 産業別の就職件数は、多い順に、「医療、福祉」（構成比29.7%）、「卸売業、小売業」（同15.0%）、「製造業」（同13.7%）などとなった。
- 職業別の就職件数は、多い順に、「運搬・清掃・包装等の職業」（構成比23.2%）、「サービスの職業」（同19.7%）「生産工程の職業」（同16.4%）などとなった。

※「その他の障害者」とは、身体障害者・知的障害者・精神障害者以外の障害者をいい、具体的には、障害者手帳を所持しない発達障害者、難病疾患、高次脳機能障害者など。

# 令和6年度障害者の職業紹介状況等

島根労働局

## 1 新規求職申込件数

新規求職申込件数は、前年度比2.9%増の1,996件（前年度1,940件）となりました。

障害種別でみると、身体障害者は1.7%増の356件（同350件）、知的障害者は0.6%増の329件（同327件）、精神障害者は4.6%増の1,153件（同1,102件）、発達障害者は8.7%減の42件（同46件）、難治性疾患患者は7.5%増の100件（同93件）、高次脳機能障害者は14.3%増の8件（同7件）となっています。

【表1】 新規求職申込件数の障害種別状況

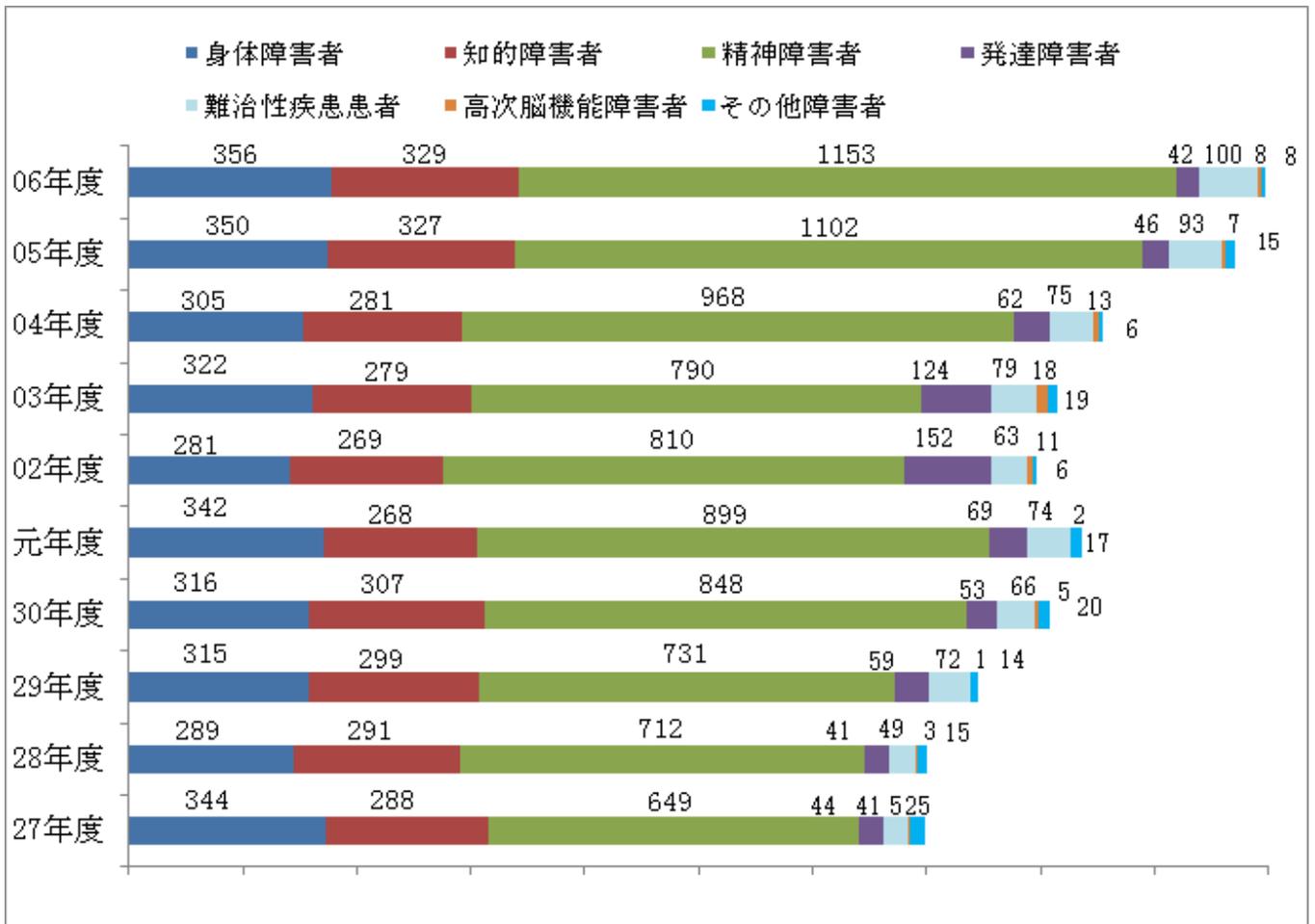
（単位：件：%）

	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
令和6年度	1,996	356	329	1,153	42	100	8	8
令和5年度	1,940	350	327	1,102	46	93	7	15
前年度比	2.9	1.7	0.6	4.6	▲ 8.7	7.5	14.3	▲ 46.7

（注）※「その他障害者」とは、精神3疾患（統合失調症、そううつ病、てんかん）以外の精神疾患で精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていない者又は身体障害者障害程度等級が7級の者等である。【表2同様】

【グラフ1】 新規求職申込件数の障害種別状況

（単位：件）



## 2 就職件数

ハローワークを通じた障害者の就職件数は、前年度比 1.2%増の 1,103 件（前年度 1,090 件）となりました。

障害種別で見ると、身体障害者は 147 件で前年度比 0.7%増(前年度 146 件)、知的障害者は 200 件で同 0.5%増(同 199 件)、精神障害者は 688 件で同 4.2%増(同 660 件)、発達障害者は 12 件で同 57.1%減(同 28 件)、難治性疾患患者は 49 件で同 25.6%増(同 39 件)、高次脳機能障害者は 3 件で同 50.0%減(同 6 件)となっています。

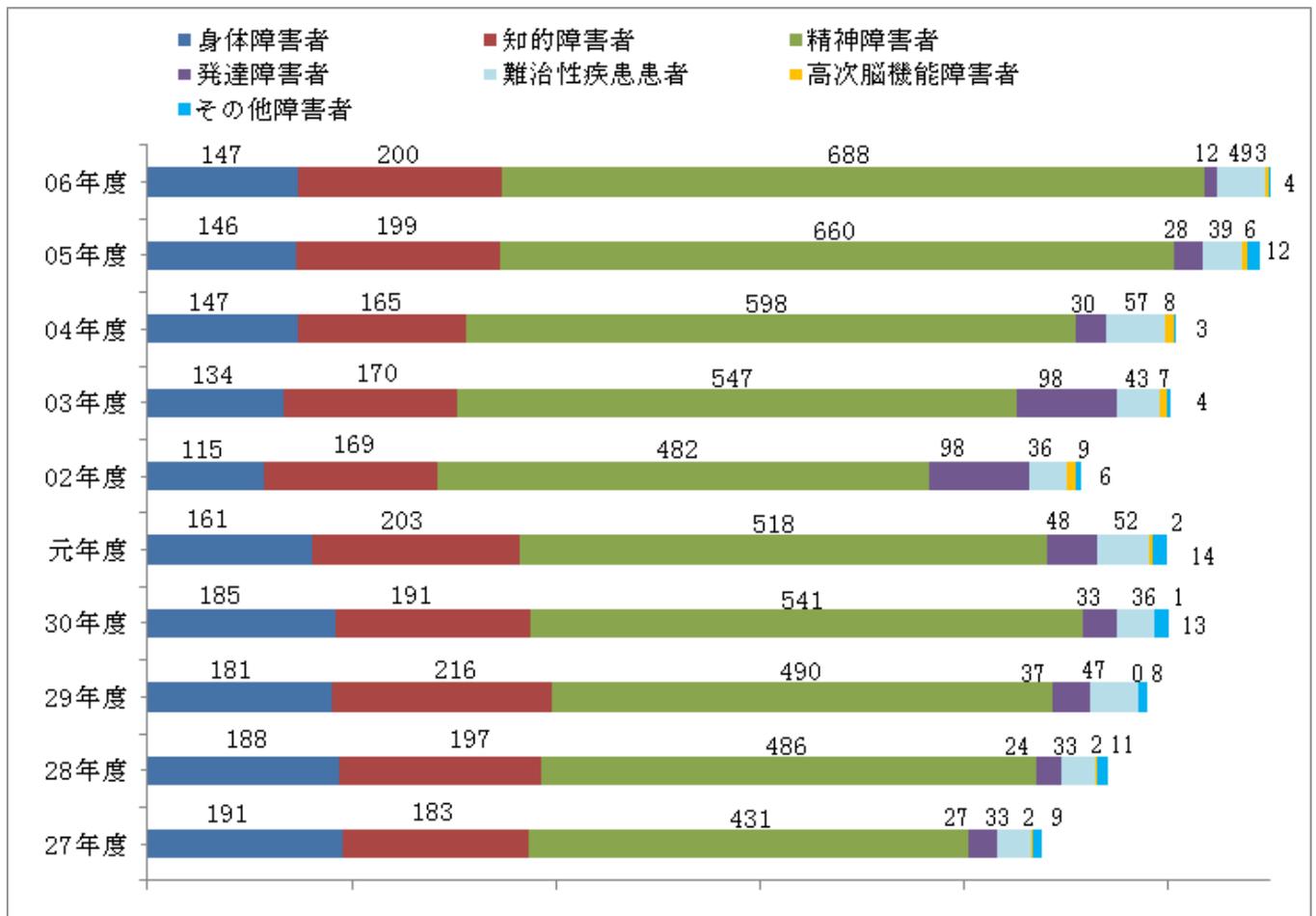
【表2】 就職件数の障害種別状況

(単位:件:%)

	就職件数	障害種別						
		身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※
令和6年度	1,103	147	200	688	12	49	3	4
令和5年度	1,090	146	199	660	28	39	6	12
前年度比	1.2	0.7	0.5	4.2	▲ 57.1	25.6	▲ 50.0	▲ 66.7

【グラフ2】 就職件数の障害種別状況

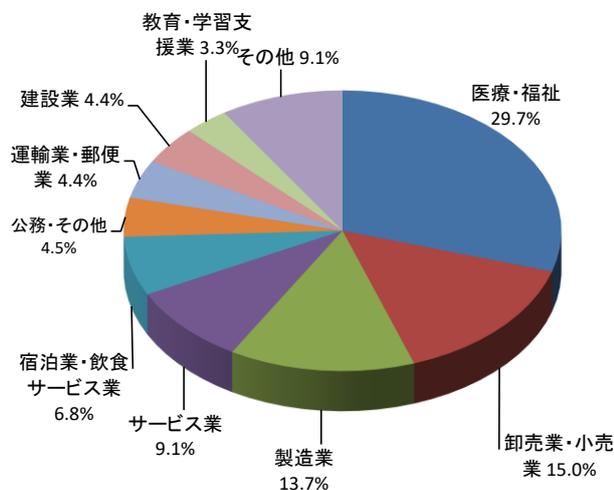
(単位:件)



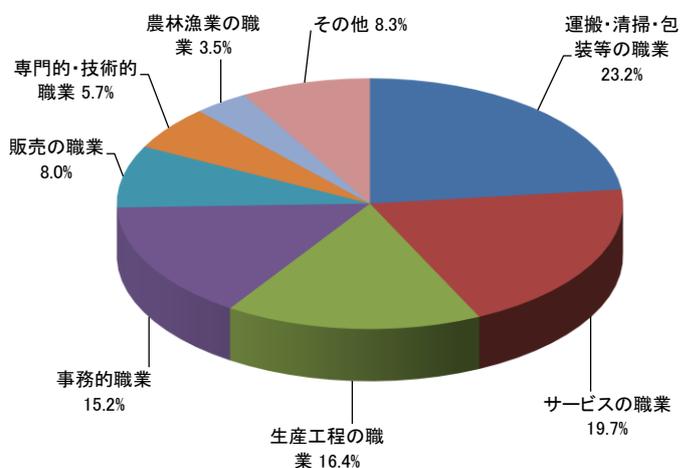
就職件数を産業別にみると、「医療,福祉」が最も多く全体の29.7%、次いで「卸売業,小売業」15.0%、「製造業」13.7%の順となっています。

職業別では、「運搬・清掃・包装等の職業」が最も多く全体の23.2%、次いで「サービスの職業」19.7%、「生産工程の職業」16.4%、の順となっています。

【グラフ3】産業別就職状況



【グラフ4】職業別就職状況



### 3 解雇者数

令和6年度の解雇者数は55人となっており、前年度より48人増加しました。解雇理由は事業廃止、縮小によるものとなっています。

【表3】解雇者の状況

(単位:所:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由			④障害種別		
		うち派遣	事業廃止	事業縮小	その他	身体	知的	精神	
令和6年度	10	55	0	14	41	0	5	24	26
令和5年度	6	7	0	6	0	1	3	3	1
前年度比	66.7	685.7	-	133.3	-	▲ 100.0	66.7	700.0	2500.0

【グラフ5】障害者解雇者数の推移

(単位:人)

